

(様式3)

平成27年度 学力向上マニフェスト

荒川区立赤土小学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要 (実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側指標) 成果指標 (子ども側の指標)
授業力の向上	・ 校内研究の充実 ・ 特別支援教育の充実 ・ 外部講師の招聘	OJTや校内研究の充実で、授業力の向上を図る。研究授業を年間6回実施し、講師の指導を受ける。全教員が事前又は事後の授業を公開して学び合い、授業力の向上に努める。授業を工夫し、分かるできる学びが行われることにより、学習することが楽しいと感じる児童を増やす。 75%→80%以上
基礎学力の定着1	・ 算数習熟度別指導の充実 ・ 電子黒板の活用 ・ 自学学習の推進	算数習熟度の教室でも電子黒板を活用した指導を展開して算数の基礎・基本の一層の習熟を図り、日々の小テストで計算力をつける。 区学力調査の算数で、3年生以上は全て、区の平均を上回る。
基礎学力の定着2	・ 復習 (くり返し学習)の推進 ・ くり返しスキルプリントの活用	力試しの問題から実態に応じて、フォローアップやチャレンジができるように個に応じた問題を充実させる。 授業や補修学習及び家庭学習で、自分に合った問題でくり返し学習をして、基礎学習を確実に身に付ける。

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める

A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し

予算執行	取組の成果	評価
授業力の向上 校内研修講師報償費 23,000 円×10 回=230,000 円 決算 23,3000×8 回=202,000 円	○全学級公開の授業研究を年間 6 回実施、外部講師の指導を受け、授業力、指導力の向上を図ることができた。 ○授業を工夫し、分かるできる学びが行われることにより、学習することが楽しいと感じる児童が増えてきた。	A
基礎学力の定着 1 デジタルテストシステム 算数・社会・理科 150,000 円 決算 150,000 円	○算数習熟度の学習で電子黒板を活用した指導を展開できた。デジタルテストシステムを活用し、算数・社会・理科の基礎・基本の定着が図れた。 ○区学力調査の算数で、3 年生は、区の平均を上回ったが、他の学年は達成できなかった。しかし、今後少しずつ成果として出てくると考える。	B
基礎学力の定着 2 小学校のじぶんで算数 1～4 巻 小学校のチャレンジミニドリル 1～3 巻 小学校の動かして教える算数 1,2 巻 算数基礎基本習熟パック 420,000 円 決算 419,0940 円	○児童の実態に応じて、フォローアップやチャレンジができるように個に応じた問題に取り組むことができた。 ○授業や補修学習で、自分に合った問題でくり返し学習を行い、基礎学習を身に付ける学びへと導くことができた。	B